

活動スタイルとポイント

①モニターチーム条件抽出

②郵送法アンケートによる
情報収集

③ 調査情報
集計・データ化

④ 開発方向性
プラン

- ◆ 郵送法アンケートの実施により、特定予算の中で、より多くのモニター稼働が可能な手法
- ◆ 多数のモニター情報収集により、調査結果を安定したデータベースとして活用できる
- ◆ データの傾向（数値上のポイントや、実状・ニーズの広がり）から、今後の開発仮説の市場性が見通しがききやすく、データの裏付けある仮説立案が可能
- ◆ 郵送法によりモニター都合等の調整が容易

活動の詳細

<モニター構成>

A 30代後半～40代 "これから"世代	白髪は出ているが、白髪染め未ユース層 現白髪染め利用への不安、期待、ニーズ 情報パネルとして	15名
B 30代後半～40代 白髪染めユーザー	現白髪染めユーザー層 日常の習慣利用の実状の中から、現状への 不満・不便、具体的なニーズ収集パネルと して	15名
C 50代～60代前半 白髪染めユーザー		15名
計		45名

- ・Aグループは、何らかの白髪対策を講じていることを条件に抽出（ヘアシャンプー・ブリーチなど）
- ・B・Cグループでは、他アイテムと白髪染めの併用者、白髪染め専用者を混在させる

<調査項目概要>

I. プロフィール 氏名、年齢、居住地、白髪染め利用の有無

II. ヘアケア
実状・意識

Aグループ

- ・白髪の有・無と対策（対策手法・使用アイテム・品名）
- ・現手法選択の背景
- ・白髪染め商品への意識と非利用理由

B・Cグループ

- ・白髪染め利用頻度、主な利用品名（メーカー・ブランド・タイプ）
- ・購入時重視点と最重視点（MA・SA）
- ・白髪染め初使用のきっかけ、状況、定着のきっかけ
- ・使用の状況（場所・準備する道具類・関連利用品）
- ・他剤使用、併用の有無と併用理由

III. メリット
デメリット

Aグループ

- ・白髪染めへの期待と不安
（商品・使い方・付属品・効果など）

B・Cグループ

- ・使い勝手、効果感、剤状などで印象に残っている商品と印象内容
- ・使い勝手、効果感、剤状などで不満のあった商品と不満の内容
- ・ブリーチ、部分染めなど、他アイテム比較における白髪染めの不満

IV. 仮説検証 仮説 Idea 評価（3～5案）と評価理由

データに基づく開発方向性
プランニング活動・ご提案

集計・データ化

御見積

・モニターコンタクト抽出 (80～90名→45名)	8.5万	} 1W
・調査企画・設計	10万	
・郵送法実査費(45名) 謝礼/通信費/ 発送・回収作業費/印刷費	23.8万	} 2W
・集計一式 集計Dir/集計作業/ データベース作成	73万	
・進行管理費 (上記の15%)	17.2万	} 2.5W
・プランニング活動 開発方向性提案レポート	30万	
TOTAL		¥162.5万 (別途消費税)

活動期間

1.5ヶ月

活動スタイルとポイント

①モニターチーム条件抽出

②グループインタビューによる
情報収集

③GI結果まとめ

④開発方向性
プラン

- ◆消費者の「生の声」情報により、リアルな反応、情報把握が可能
- ◆少数精鋭リクルートが大切だが、モニター都合のつきにくい弊害あり
- ◆特化したモニター、オピニオンの意見収集により、特化情報の切り口広がりやすい
- ◆調査コストが高いため、特定予算で多くのサンプル情報の収集が困難であり、「鮮度ある情報」は得られる反面、裏付けデータとして数値化しにくい

活動の詳細

<モニター構成>

A 30代後半～50代 白髪染め専用ユーザー	白髪対策には白髪染めと決めている。 商品購入頻度も高く、白髪染めの中で 選び分けるケースもある	7名
B 30代後半～50代 他アイテム、白髪染め 併用ユーザー	白髪染めと多アイテムを、状況により 使い分ける	7名
2G		14名

<調査項目概要>

- ・事前アンケート：白髪対策商品 使用状況詳細
白髪対策商品 購入状況詳細

- プロフィール 氏名、年齢、居住地
- 白髪染め歴 白髪染め利用年齢、利用期間、取り込み時の状況
ブランドスイッチの有無、他アイテム併用の有無
- 使用状況 使用場所、使い方の状況、周辺品利用の状況
使用頻度と使用期間の目安
- ブランドロイヤリティ状況
 - ①ブランドスイッチ経験者
スイッチのきっかけ（使用品への不満・スイッチ品への期待）
不満・期待の内容詳細
印象に残る商品の有無と理由
 - ②特定ブランド限定ユーザー
使用品名とロイヤリティの背景
他品を使わない理由
 - ③他アイテム併用者
併用の理由と白髪染めのメリット・デメリット

- 仮説検証 パッケージ案提示による評価
- 自由意見 これからの白髪染めに求めることと理由

GI結果に基づく
開発方向性抽出

発言表・GI結果要約

御見積

・モニターコンタクト抽出 (50～60名→14～16名)	6.5万	} 10日
・事前アンケート、GIシナリオ設計	15万	
・GI実査費 (2G=16名) 謝礼/会場費/モニター&アシスタント ケア(テープ・備品)/飲食関係費	34万	} 1日
・発言表マトリックス作成	34万	
・GI結果要約レポート作成		} 1W
・進行管理費 (上記の15%)	13.4万	
・プランニング活動 開発方向性レポート	35万	} 2W

TOTAL ¥137.9万
(別途消費税)

活動期間
1ヶ月